



3年学年だより

発行日：平成 31 年 3 月 22 日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 11

Society 5.0 に生きる

校長 磯部 修一

AI 技術の発達により自動で運転される車や会話をするロボット、介護をするロボットなどが話題になっています。将来、AI やロボットによって多くの仕事が代替され、人間の負担が軽減されることが予想される一方、多くの失業者が生まれるのではないかなどと言われたりもします。

人類は Society 1.0 狩猟社会から Society 2.0 農耕社会、Society 3.0 工業社会を経て現代の Society 4.0 情報社会に至っています。そして次の大きな変革として Society 5.0 が訪れようとしています。

「Society 5.0 に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」(平成 30 年 6 月 5 日 Society 5.0 に向けた人材育成に係る大臣懇談会 新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース 文部科学省)には次のようなことが書かれています。

○Society 5.0 とは、「サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」

○Society 5.0 を実現する鍵となる AI とその基礎となる数学や情報科学等に関する研究開発と教育が、日本は米国や中国等に比べて立ち遅れている。

○私たちが目指すべき社会は、経済性や効率性、最適性だけを追求するのではなく、あくまでも人間を中心として、一人一人が他者との関わりの中で「幸せ」や「豊かさ」を追求できる社会。

○人間らしく豊かに生きていくために必要な力は次の三つ。

- ① 文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ② 科学的に思考・吟味し活用する力
- ③ 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力

○我が国の義務教育では、今後とも、Society 5.0 を見据え、基礎的読解力、数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力を、すべての児童生徒が習得できるよう、新学習指導要領の着実な実施が必要である。

○学校や学びの在り方に関しては、「〇〇だけ」構造からの脱却が求められる。例えば、「教師だけ」が指導に携わる学校から、教師とは異なる知見を持つ人々と連携・協働し、「開かれた教育課程」を実現する学校へ。「同一内容だけ」児童生徒に教える教育から、「個々人の特性」に応じた教育へ、などの転換が求められる。

生徒たちが、Society 5.0 において人間らしく豊かに生きていく力を身に付けることができるように、学校での教育の在り方を考えていきます。

3年間のEGGゼミの集大成

卒業研究発表会が行われました

3月9日（土）、生徒一人ひとりが今年1年間かけて取り組んだ卒業研究の成果を発表する「卒業研究発表会」が行われました。発表時間は一人5分。1年間の活動の成果を、どうしたら時間内にわかりやすく伝えることができるか？プレゼンテーションのスキルやフリップの活用など、これまでに学習したことを生かしながら、この日に向けてみんな一生懸命に準備をしてきました。

迎えた当日、各会場はクラスメイトや2年生の後輩たち、そして多くの保護者で満員に……。大勢の人の前での発表に緊張しながらも、一生懸命に話し、伝えようとするみんなの姿にとっても感動しました。自ら課題を発見し、悪戦苦闘しながら課題解決に取り組んだこの経験は、きっとみんなにとって大きな財産になったことと思います。この経験を生かし、高校のTRY&ACTでさらに課題解決の力を磨いていってください。



皆さんが提出した卒業論文は、代々、附属中学校の財産として保管をしていきます。また、皆さんの手元には卒業研究抄録集を配りました。ぜひじっくりと読んでください。設定された課題、研究方法、考察に同じものは一つとしてなく、5期生全員の個性がひきかたっています。卒業論文完成までの怒涛の日々を互いに称え、みんなで応援しあい頑張りぬいた5期生の集団の力を感じてください。そして卒業証書、卒業アルバムとともに、この卒業研究抄録集を大事にしてくださいね。

卒業に寄せて・・・



5期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの卒業を祝して、3学年職員より、はなむけの言葉を贈ります。

1組担任 海崎 隆徳

三年間で、クラス92人、授業141人、学活&道徳リレーで19名の五期生と出会って、行き交って、過ごしてきました。来るべき次年度、みんなは何期生になることでしょうか?伝統を背負いながら未来を切り拓いていく…そんな高校生になっていくこと、心から願っています。ひとまずだけれど確かなひと区切り。これまで本当にどうもありがとうございます。そしてどうかいつまでも、ごきげんよう。

2組担任 齋藤 若菜

三年前の春、5期生が門をくぐってくるのを、特別な思いを抱いて待っていたことを鮮明に覚えています。三年間、みんなと一緒に挑戦と失敗を繰り返しながら、やっと「先生」になることができました。本当にありがとうございます。これから先も、周囲を巻き込んでスクラム組んで、何事も楽しもうと臆せずトライして、最高のノーサイドを目指せるチームを作っていくてください。応援しています。

3組担任 山本 丁友

5期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この3年間を振り返ってみると、生徒も先生も、素晴らしいチームだったなと思います。もともと幸せな毎日でしたが、いつでも愉快的皆さんのおかげで、さらに幸せになることができました。ありがとうございます。そして、高校に行っても、「いつも心に太陽を」で頑張ってくださいね。

4組担任 松藤 望

1年生の時、道徳の授業で「教室は間違えるところだ」の詩を読んだことを覚えていますか。私は教室だけでなく、人生そのものが間違えるところだと思います。中学校を卒業し、この先多くの選択や決断や行動を迫られることになるでしょう。その時、「間違えない」ようにするのはなく、自分(達)なりの正解・納得解を創っていくって下さい。君たちならできる。卒業おめでとう!

副担任 間宮 英美

5期生のイメージは、「こぢんまり」している、でした。決してマイナスなことではなく、「小さいながらもしっかり整っている」という感じです。

でも、高校生になったら、時には自分が思っている以上のことに挑戦してみてください。自分自身を逞しく感じるができるでしょう。

お互い強く生きていきましょう!!

副担任 鈴木 理佳

5期生のみなさん、卒業おめでとうございます。

「努力は人を裏切らない」「忍耐はすべての扉を開く」という言葉があります。これからもみなさんの長所である、何事にも前向きに挑戦し続ける粘り強さをもって、日々成長していくてください。

「夢は大空へ 努力は足元に」

楽しい1年間をありがとうございました。

学年主任 蛭田 真生

自分の生き方に一番大きな影響をあたえたものは何だろう?と考えたとき、それは「人との出会い」だったように思います。新しい仲間との出会い、新しい先生との出会い・・・春にはたくさんの出会いがあります。一期一会を大切に、自分の世界を大きく広げていってください。5期生のみんなと出会って過ごした3年間、毎日とても幸せでした。たくさんの思い出をありがとうございます!!



大成功！！五期生・有志団体発表会

卒業式を間近に控えた3月20日（水）、最後に学年で盛り上がり！！ということで、学級委員会主催の有志団体発表会が開催されました。楽器演奏あり、歌あり、演劇あり、コントあり・・・どの団体もこの日に向けて一生懸命に練習し、素晴らしいパフォーマンスで会場を沸かせました。5期生の才能と笑顔がはじけた最高のひとときでした。企画から運営まですべてを担い、何度も会議を重ね、イベントを大成功に導いた学級委員会の皆さん、本当にありがとう！！

高校でさらにパワーアップしたみんなの姿が見られることを楽しみにしています。

